

科目名	博物館教育論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小林 初恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.博物館における教育プログラムや教育普及の特徴を理解し、基礎的知識を学ぶ。 2.博物館教育の現状を把握し、課題の整理・解決のため、企画検討や実施技術を養う。 [授業概要] 近年、歴史文化遺産への興味や継承が低下傾向にある中で、博物館が社会との接点を繋ぐ役割が期待されており、博物館教育が重要視されている。 この講義では博物館教育の在り方について歴史系の博物館を例に、博物館と利用者の双方向の活動の必要性や教育活動の現状を的確に把握し、基礎的知識・思考法等を学ぶとともに、課題解決に向けた企画検討法を学ぶ。 授業中に学外実習として、堺市立町家歴史館等において、博物館教育活動の現状を把握する。後半には博物館学習プログラムの作成についてレポートを作成するとともに、発表・評価によるコミュニケーションの向上と成果の共有を図る。 ※学外実習は堺市立町家歴史館等において、1日に2コマ分を土曜日もしくは日曜日に実施する。その際、入館料等の負担が必要。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業開始前に博物館・美術館等に出向き、十分な時間を費やし、展示等の事業内容や課題を整理し、説明できるようにしておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、博物館のイメージや課題 2. 博物館の教育機能と役割 3. 博物館教育・学校教育・生涯学習の比較 4. 博物館教育活動の在り方 5. 来館者のニーズと博物館活動 6. 博物館教育プログラムの企画と実施、博物館ボランティア養成と役割(1) 7. 博物館ボランティア養成と役割(2)、まとめ、学外実習事前説明 8. 博物館教育活動の現状(学外実習1) 9. 博物館教育活動の現状(学外実習2) 10. 博物館ボランティア養成と役割(3)、課題解決のための博物館学習プログラム(レポート)の作成 11. 博物館学習プログラム発表・批評1 12. 博物館学習プログラム発表・批評2 13. 博物館学習プログラム発表・批評3、講評、博物館教育の深化と展望				

科目名	博物館教育論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小林 初恵		
[成績評価方法] 授業態度・発言(20%)、授業ごとのレポート(30%)、プログラム作成と発表・批評(50%)により評価 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:新時代の博物館学 著者名:全国大学博物館学講座協議会西日本部会／編 出版社名:芙蓉書房出版 ISBN:9784829505519 [参考書(ISBN)] 書籍名:改正博物館法 詳説・Q&A 著者名:博物館法令研究会 出版社名:株式会社水曜社 ISBN:9784880655413			

S54005 [LHI2-001]